

## Compass



## Contents

- ◆ 学外からの電子リソース利用方法  
その③ユーザー登録
- ◆ 文献管理もグンと楽に  
EndNote Basic
- ◆ 学外からの電子リソース利用方法まとめ

自宅や出張先からあのデータベースが使えるといいのになあ。

文献情報の検索に便利なデータベース Web of Science。「急に調べたいことがあったけど、学外からじゃアクセスできない…明日、大学に行ってからにしよう(\*\_\*)」——自宅や出張先など学外からアクセスしたい、という経験はありませんか？

スマートフォンやタブレット、自宅の PC から利用できたら、とても便利ですね？

## そんなあなたへ

学外から利用できる方法、あります！今回はユーザー登録をすることで、学内 LAN 以外からも利用できる方法をご紹介します。

VPN サービスだけでなく、この方法を使うと VPN 用のアプリなどの利用も不要！24 時間いつでもデータベースを使い、さらに文献管理などの便利な機能を利用できます。

## 方法その③

## ユーザー登録で Web of Science が学外からも使えます！

Clarivate Analytics 社が提供する引用索引データベース **Web of Science**。幅広い分野の一流ジャーナルの文献情報が搭載されており、注目度の高い文献を瞬時に判断でき、引用情報を辿ることで次に読むべき論文が分かるという点で、世界の多くの機関で利用されています。弘前大学でもこの製品を契約していますが、「**ユーザー登録**」をすることで学外からもこのデータベースが利用できるようになります。つまり、スマートフォンやタブレット、自宅の PC などからネットワーク接続さえできれば、学内にいるのと同様、シームレスに文献情報へアクセスすることが可能となります。

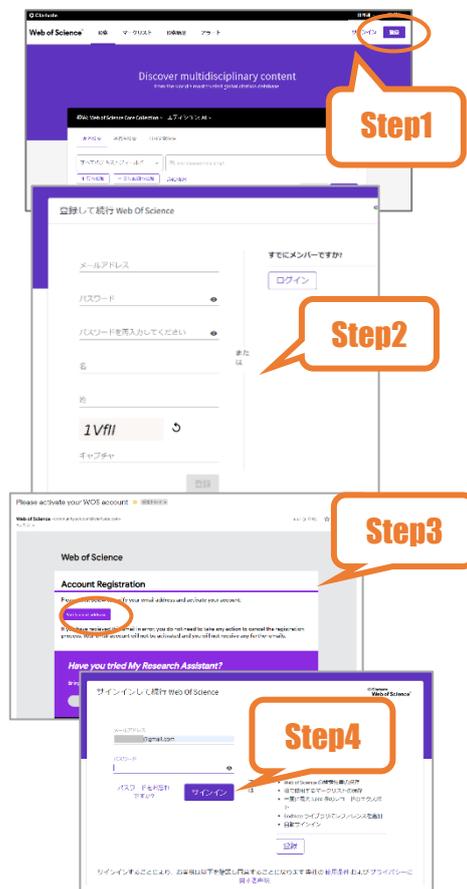
## こんなに簡単！ユーザー登録

- 1:大学の学内 LAN に接続している PC で（あるいは VPN サービスでログインした状態で）附属図書館 HP から Web of Science へアクセスします。右上にある「登録」をクリックします。
- 2:メールアドレスやパスワード、氏名などを登録します。（Hiroin ID でなくとも自分の使いやすいメールでも大丈夫です。）
- 3:登録したメールに確認用メールが届くので、「Verify email address」を押します。
- 4:サインイン画面に戻るので、ユーザ登録したメールとそのパスワードを入力し、「サインイン」をします。サインインが完了すると、自分の名前が右上に表示されます。次回からは「サインイン」から入ります。

## ～ユーザー登録するとできること～

- ・学外からのアクセスができるようになる
- ・過去の検索式&検索履歴の保存とアクセス
- ・メールアラートの作成
- ・文献管理ツール EndNote への連携

参照：[https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2021/01/3\\_WoS-user-registration\\_202106.pdf](https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2021/01/3_WoS-user-registration_202106.pdf)  
(Accessed 2021-10-20)



# 文献管理もガンと楽に EndNote Basic

Web of Science のユーザー登録をしたら、附属する文献管理ツール **EndNote Basic** も使えるようになります！

## EndNote Basic とは？

オンライン上で利用できる**文献管理・論文執筆支援**のソフトです。

Web of Science や Google Scholar, PubMed, CiNii などから収集した**文献情報や全文をダウンロードして保存**でき、**自分専用の「引き出し」**として活用できます。

本学では Web of Science を導入しているので、**無料版 EndNote** に比べて**機能が多く**、引用文献リストを作成する機能では 3300 種類のスタイルが利用でき、引用回数などの Web of Science に搭載のデータにもリンクできる機能がっています。

「マイグループ」で文献を分類しておく、「引用文献リストの作成」で、投稿する雑誌の形式にあわせて自動作成できるので便利です。



～こんな風に使います～

**CiNii**で見つけた文献情報！すかさず画面右端の「書き出し」を選択します。

RIS という形式のファイルが端末にダウンロードされます。

EndNote にログインして、「文献の収集」→「レファレンスのインポート」。ダウンロードしたファイルを選択し、インポートオプションで RIS 形式を指定して「インポート」します。

文献情報が「マイレファレンス」に登録できました。

## 参考文献

\* Clarivate Analytics 社公式サイト「必須ガイド・活用メソッド」

<https://clarivate.jp/training/web-of-science/>

(Accessed 2020-4-20)

\* Web of Science クイック・レファレンス・ガイド

[https://clarivate.com/webofsciencegroup/wp-](https://clarivate.com/webofsciencegroup/wp-content/uploads/sites/2/2021/01/4_WoS_QRC_202107.pdf)

[content/uploads/sites/2/2021/01/4\\_WoS\\_QRC\\_202107.p](https://clarivate.com/webofsciencegroup/wp-content/uploads/sites/2/2021/01/4_WoS_QRC_202107.pdf)

df (Accessed 2021-10-20)

## お問合せ

弘前大学附属図書館

資料管理グループ雑誌情報担当

Tel:

0172-39-3157

Mail:

jm3157@hirosaki-u.ac.jp

## 附属図書館 HP

<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/>

電子ジャーナル・データベースに関する講習会・オンラインセミナーなどの案内も掲載中！



## ◆◆学外からの電子リソース利用方法まとめ◆◆

弘前大学で契約している製品について、**学外からのアクセス方法を一覧**しています！

学外からの電子リソース利用方法  
<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/journal/howtoremort.html>

「電子ジャーナルって学外から利用できるの？」  
「どんな方法でアクセスするの？」  
「いつでもどこでもアクセスできるの？」

そんな疑問にお答えする Q&A 付の特設ページです。それぞれの製品で取り扱いが異なる場合がありますので、掲載している早見表をご活用ください。

